



2008年3月期 決算説明会






平成20年5月26日(月)

東京鋼鐵株式会社 JQ:5448

代表取締役社長 南 良隆



目次

-  P 3～ 9 決算の概要
-  P10～ 12 市況動向
-  P13 通期業績見通し
-  P14 今後の設備投資計画
-  P15～ 19 その他付属資料





決算の概要

- 🍌 P4 通期 実績概要
- 🍌 P5 営業利益減益要因
- 🍌 P6 売上高・輸出割合の推移
- 🍌 P7 製造原価
- 🍌 P8 最終業績予想との比較
- 🍌 P9 貸借対照表 主要項目比較



通期 実績概要



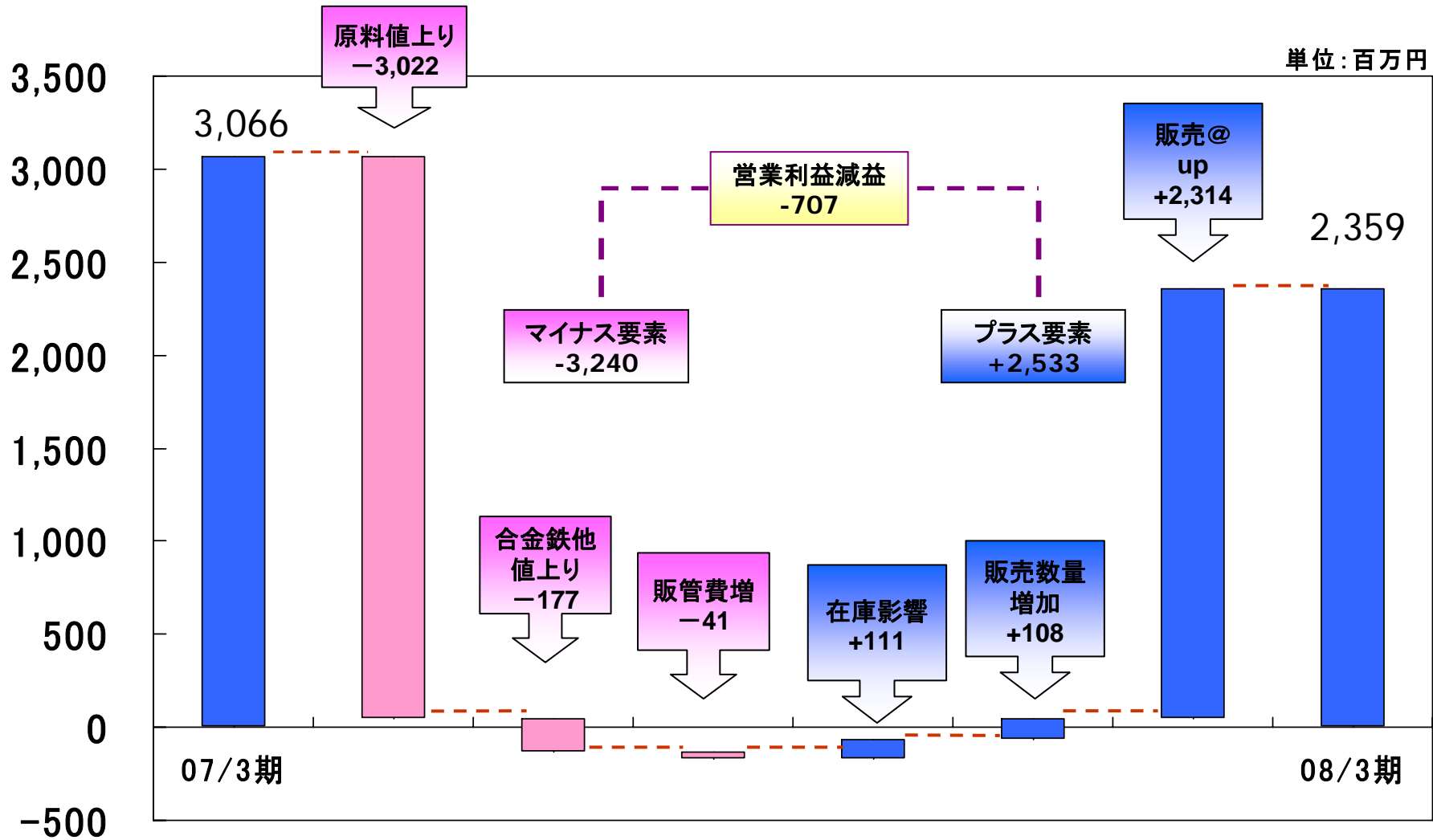
急騰する原材料価格に製品価格転嫁が追いつかず減益

単位:百万円

	07/3期	08/3期	増減額	増減率	要因
売上高	15,961	18,950	2,989	18.7%	9月、2月、3月に値上げ
売上原価	11,730	15,365	3,635	31.0%	スクラップ払出単価が38.9%up
売上総利益	4,231	3,585	-646	-15.3%	
販売管理費	1,165	1,226	61	5.2%	
営業利益	3,066	2,359	-707	-23.1%	
経常利益	3,082	2,383	-699	-22.7%	
当期純利益	1,744	1,382	-362	-20.7%	

ROS(%)	19.3%	12.6%	-6.7%	同業の中では高利益率
EPS(円)	100.13円	79.39円	-20.74円	
配当(円)	10円	10円	±0円	据置

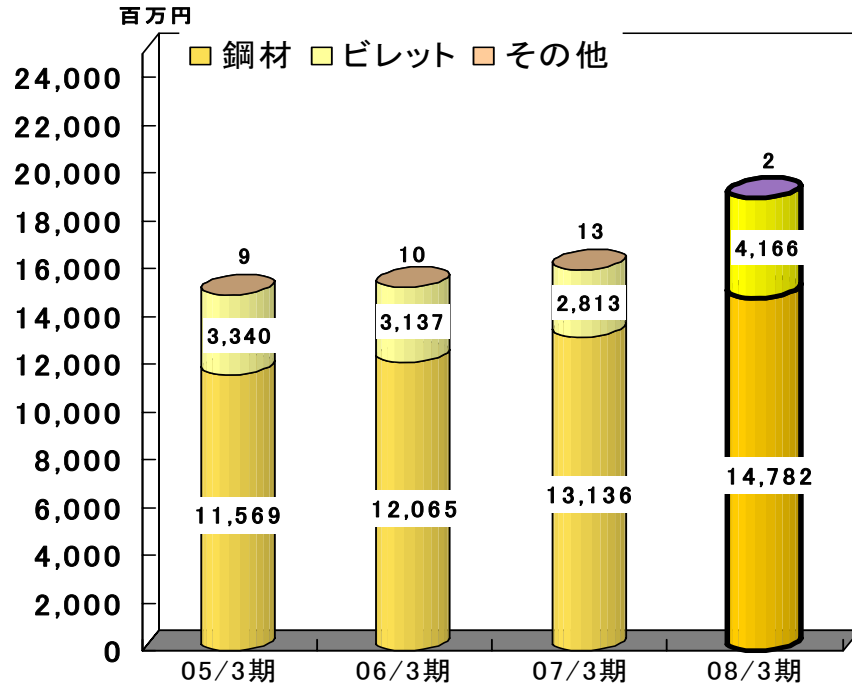
営業利益減益要因



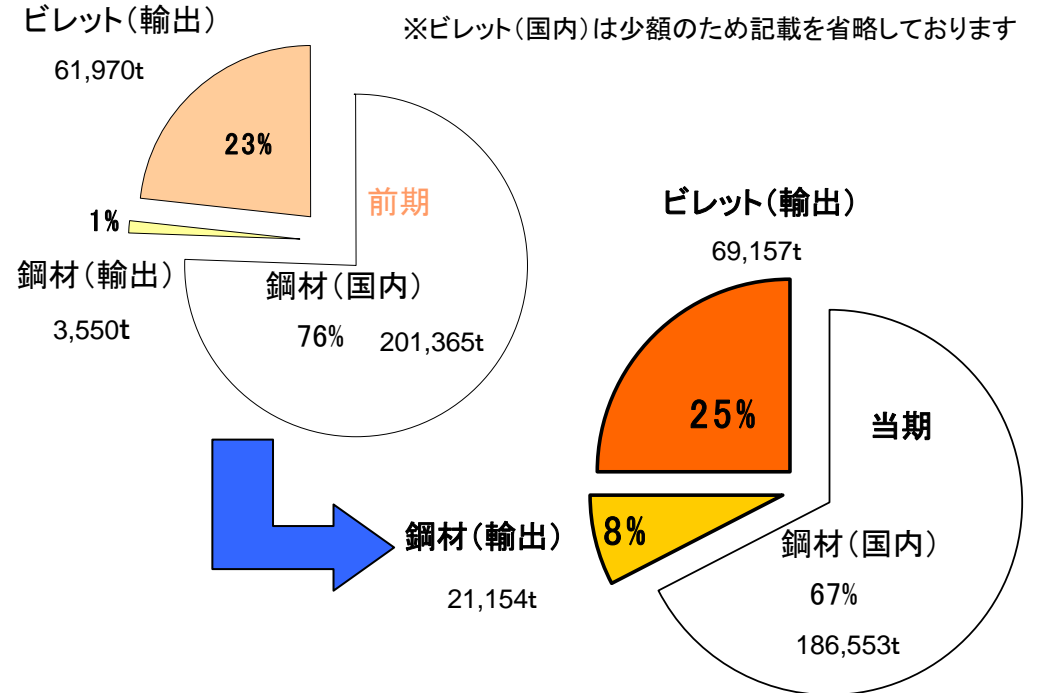
売上高・輸出割合の推移



売上高推移



輸出割合推移(数量)



前期 売上比較

<鋼材>

国内減少分を輸出でカバーし販売数量増加 2,790t増加
 製品価格転嫁により@7,065上昇 1,646百万円増加

<ビレット>

鋼材需給調整分を輸出販売へ移行 7,149t増加
 販売価格アップにより@14,873上昇 1,352百万円増加

輸出増加(65,522t(24%) ⇒90,311t (33%)へ)

改正建築基準法の影響から民間建築需要が停滞し、国内鋼材販売数量は14,811t減少。アジア地区の買い意欲が旺盛だったこともあり減少分を輸出販売増でカバー ⇒期初利益計画達成に至る。

製造原価

(金額:百万円、構成/増減率:%)

	07/3期		08/3期		前期比	
	金額	構成比	金額	構成比	増減額	増減率
材料費	8,896	75.8%	11,944	79.1%	3,048	34.3%
労務費	764	6.5%	839	5.6%	74	9.7%
経費	2,078	17.7%	2,310	15.3%	232	11.1%
総製造費用	11,738	100.0%	15,093	100.0%	3,354	28.6%

- 材料費は、スクラップや合金鉄の値上がりが大きく、総製造費用に占める割合が年々高くなってきている
- 労務費は、年金運用益の減少から退職給付費用負担増
- 経費は、設備の維持を目的に行われた修繕や税制改正による減価償却費増が主要因で増加

最終業績予想との比較



単位:百万円

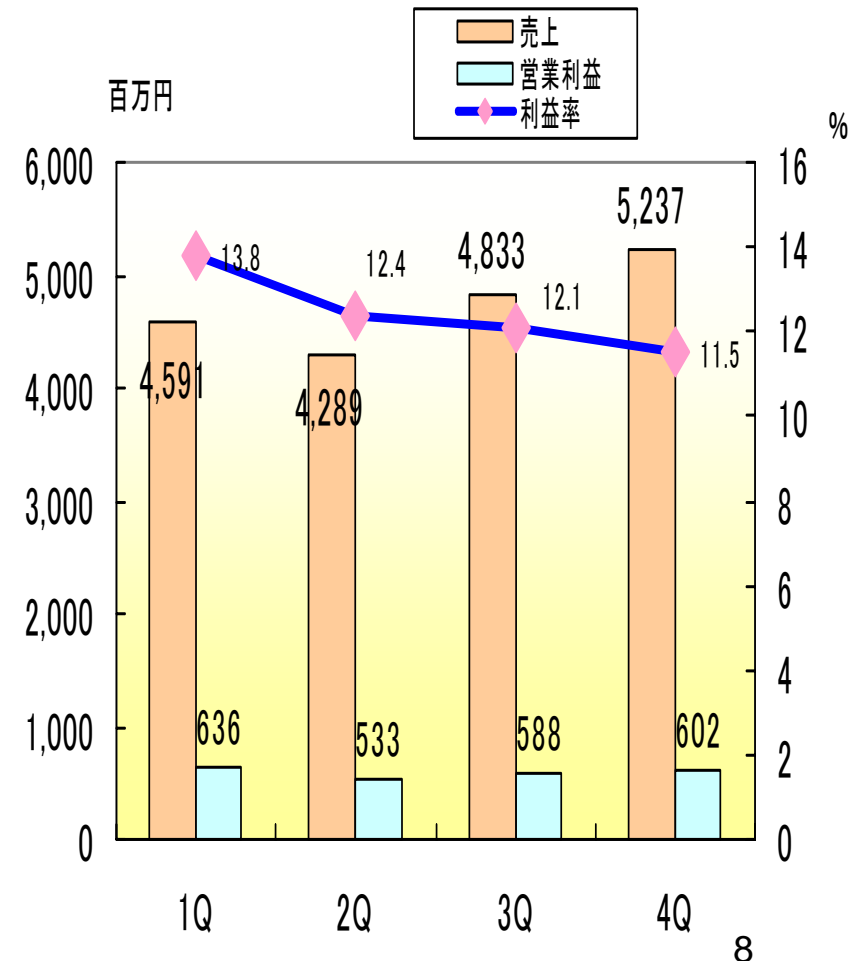
	計画 (19.11.9)	08/3期 実績	差引
売上高	18,700	18,950	250
営業利益	1,900	2,359	459
経常利益	1,900	2,383	483
当期純利益	1,060	1,382	322

売上高営業利益率	10.2%	12.5%	2.3%
----------	-------	-------	------

主な営業利益増加要因

- スクラップ影響 213百万円
- 在庫影響 113 "
- 販売数量増加 49 "
- 販売単価up 16 "

四半期業績推移



貸借対照表 主要項目比較



単位：百万円

	07/3期末	08/3期末	増減額	内 容
資産 売上債権	3,917	4,310	393	販売単価アップによる
棚卸資産	1,924	2,045	121	原材料が116百万円増加
短期貸付金	0	1,720	1,720	余資の運用、現預金の一部シフト
流動資産	6,716	8,634	1,918	当期純利益による手持ち資金増加
負債 買入債務	3,706	5,631	1,925	スクラップ、合金鉄・重油等値上り
有利子負債	1,293	588	△705	積極的に返済
流動負債	5,336	6,658	1,322	
純資産合計	8,886	10,092	1,206	
負債・純資産計	16,236	18,631	2,395	
流動比率(%)	125.8%	129.6%	3.8%	
自己資本比率(%)	54.7%	54.2%	△0.5%	
DELシオ(倍)	0.14倍	0.06倍	△0.08倍	



市況動向

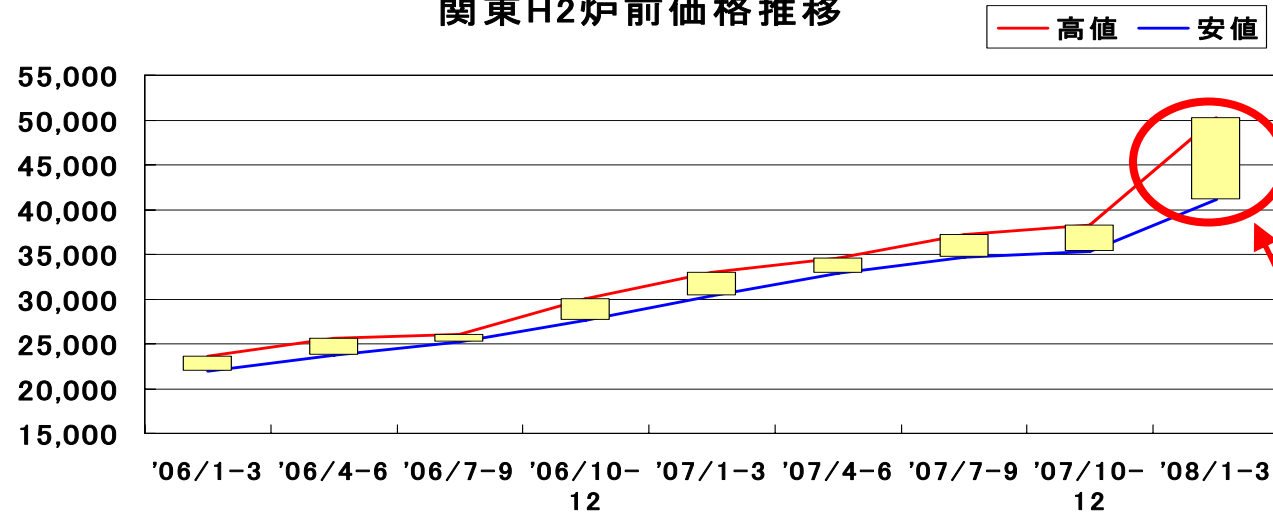
🍌 P11 スクラップ市況

🍌 P12 山形鋼市況

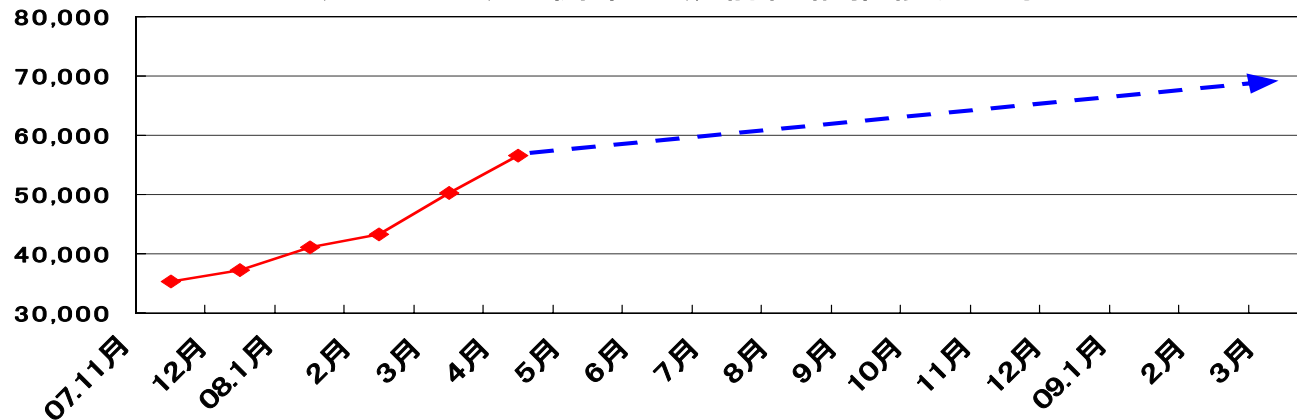


スクラップ市況

関東H2炉前価格推移



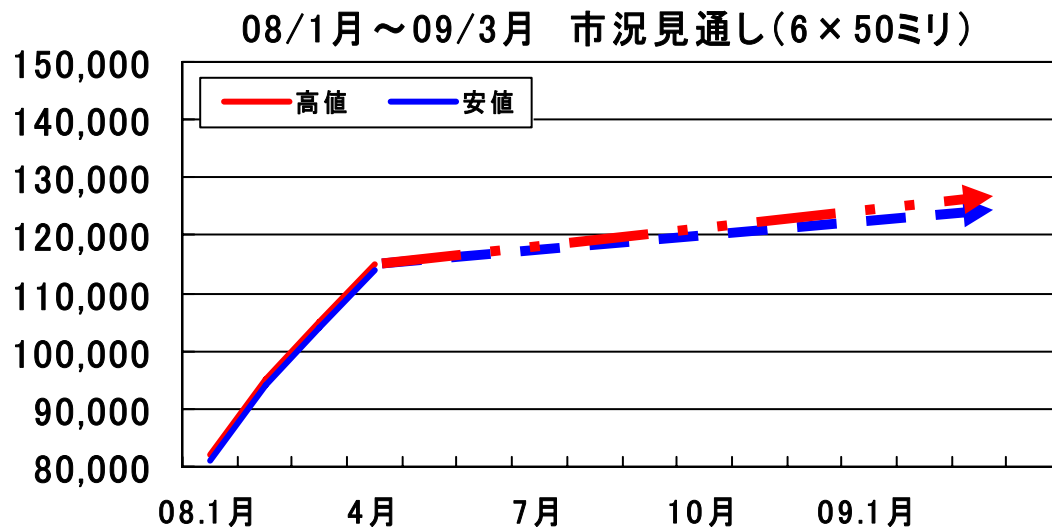
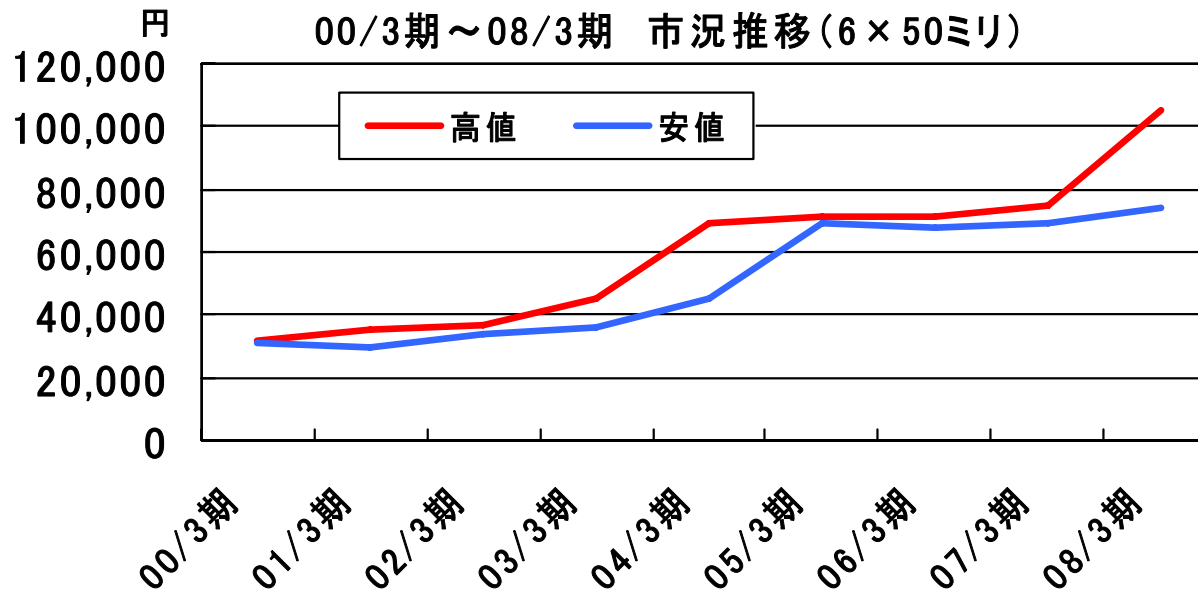
07.11月～09.3月 関東H2炉前価格推移及び予想



出所:社)日本鉄源協会

- 世界の粗鋼生産は増加を続けており特に中国の増加が著しい。
- 2007年度の日本の粗鋼生産は過去最高を更新した。
- 改正建築基準法の影響から国内市況は一時的に第3四半期では下落したが、海外の旺盛な需要により第4四半期は急騰した。
- 高炉メーカーの購入意欲が強く今後も強含みで推移するものと思われる。

山形鋼市況



- 鋼材需要は、造船向けは旺盛だが、建築・土木は減少。
- 原材料高騰分を価格転嫁するために、9月に5千円、2月に5千円、3月に1万円、4月1万円、5月1万円の値上げを実施。
- 山形鋼市況(市中相場)はスクラップ市況に引張られ急上昇。今後も強含みで推移すると予想。

09/3期 通期業績見通し



単位:百万円

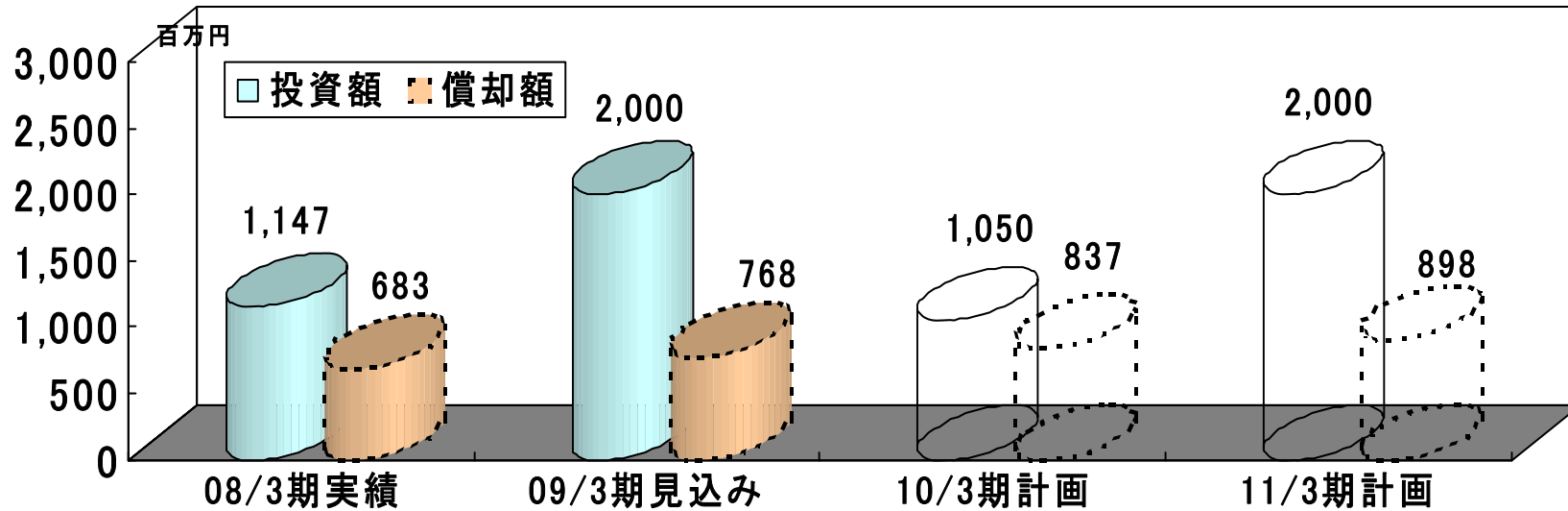
	08/3期	09/3期(見通し)			前期比 増減
	通期・実績	上期	下期	通期	
売上高	18,950	12,800	14,600	27,400	8,450
営業利益	2,359	1,200	1,000	2,200	△159
経常利益	2,383	1,200	1,000	2,200	△183
当期純利益	1,382	610	560	1,170	△212

配当金(円)	10	5	5	10	±0
--------	----	---	---	----	----

営業利益 減益要因(前期対比)

- 販売単価上昇 8,107百万円
- スクラップ等原材料価格の上昇 △8,034 //
- 燃料等の上昇によるコストアップ △ 193 //
- その他 △ 39 //

今後の設備投資計画



設備投資明細

• 09/3期	製鋼・トランス及びフリッカ更新	10.0億円	製鋼・集塵装置(環境)	2.5億円
	圧延・スタンド	0.6億円	その他	6.9億円
• 10/3期	製鋼・ビレットシャー更新他	5.5億円	圧延機他	2.0億円
	圧延・加熱炉ガス化(第1期工事)	1.0億円	その他	2.0億円
• 11/3期	圧延機他	8.0億円	圧延・加熱炉ガス化(第2期工事)	4.4億円
	その他	7.6億円		

その他 付属資料

 P16 普通鋼電炉の生産推移

 P17 鉄鋼業界中の当社の位置

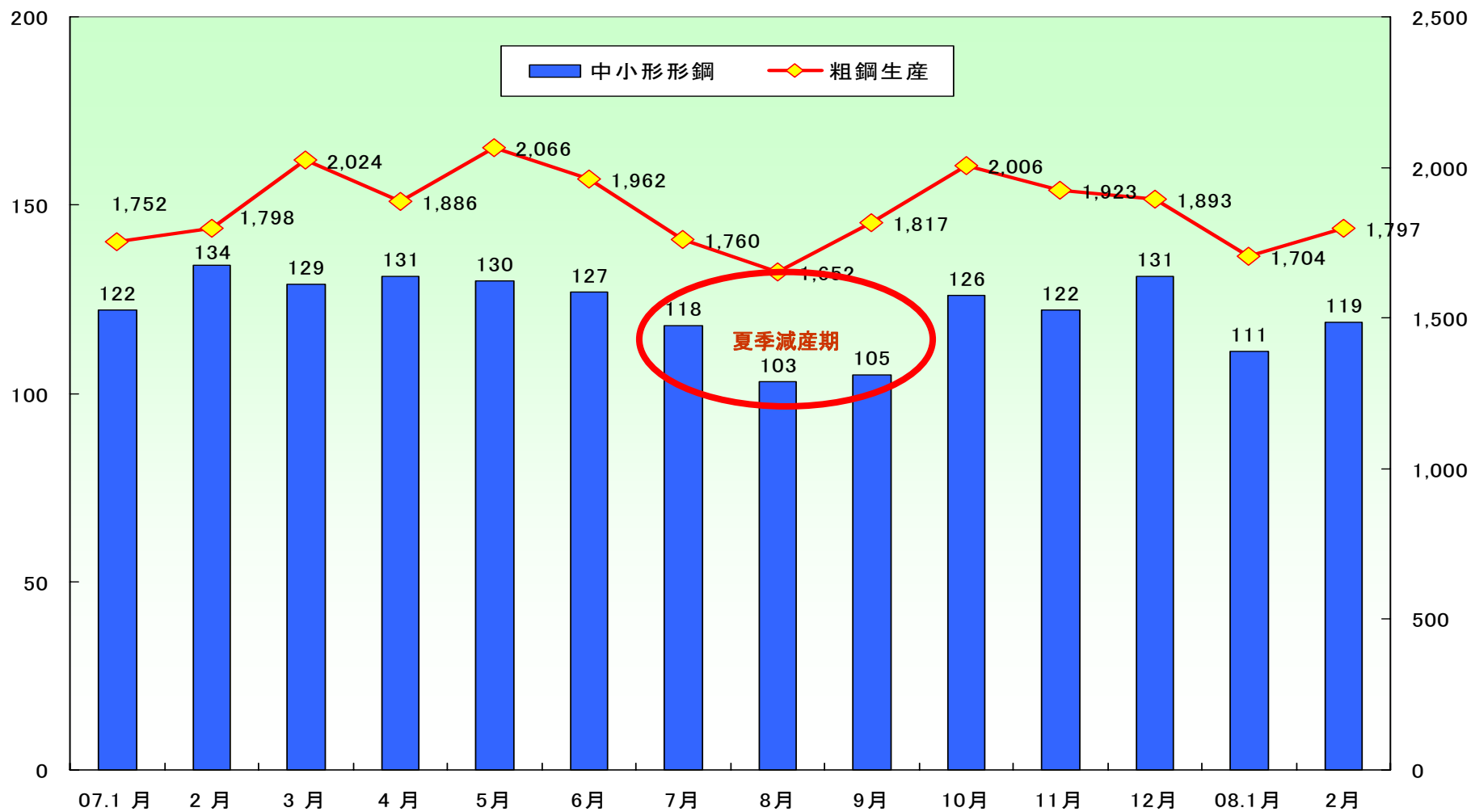
 P18 製造工程図



普通鋼電炉の生産推移(07.1月~08.2月)



単位:千t



出所:経済産業省

鉄鋼業界内の当社の位置



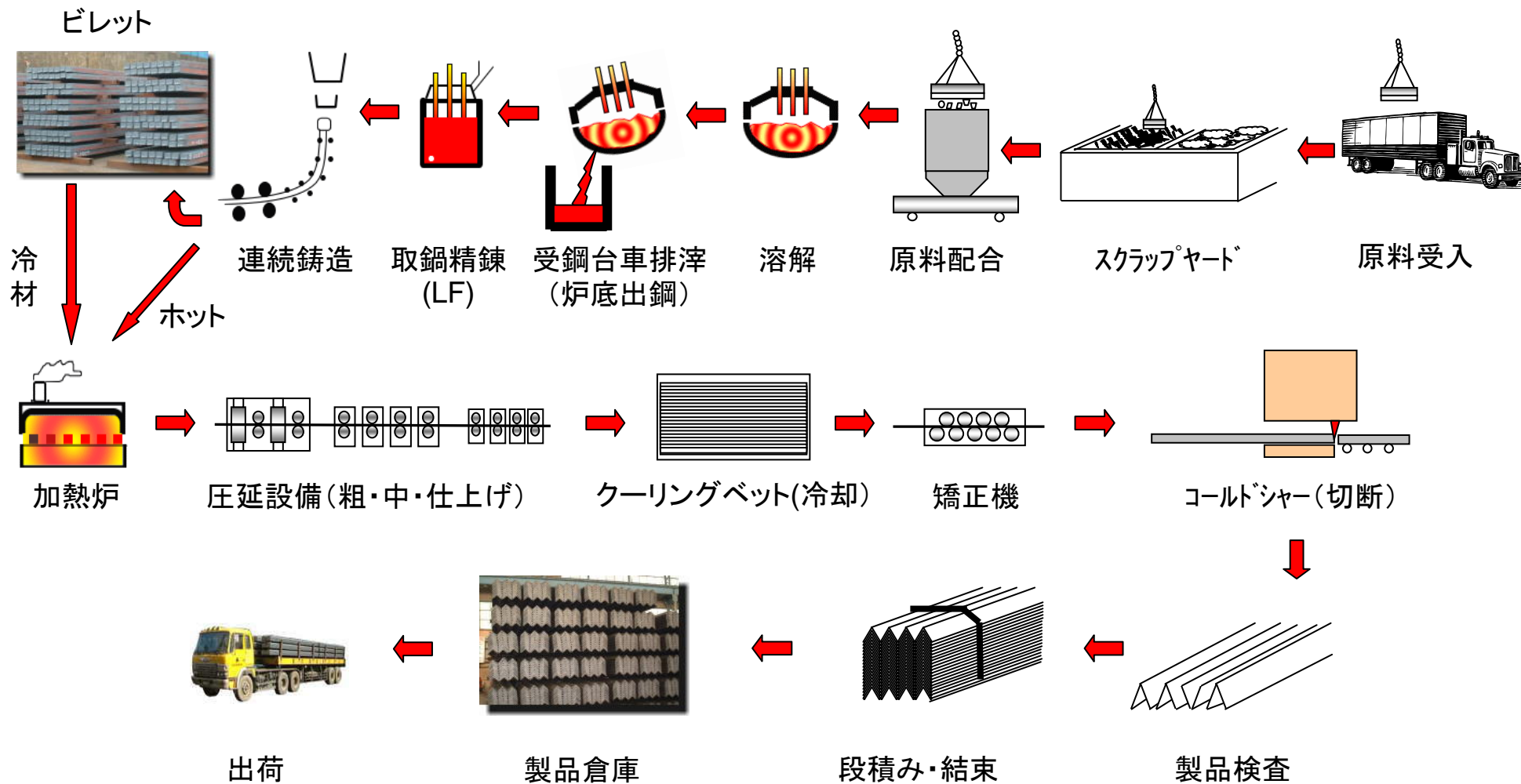
売上規模は小さいが利益率は常に上位

		売上高		経常利益		ROS		
		全体順位	電炉順位	全体順位	電炉順位	利益率	全体順位	電炉順位
東	05/3中間	57位	14位	29位	10位	22.8%	3位	3位
	05/3通期	65位	15位	37位	14位	20.9%	6位	5位
京	06/3中間	61位	15位	38位	15位	20.1%	7位	6位
	06/3通期	65位	16位	39位	15位	21.3%	6位	5位
鋼	07/3中間	65位	18位	38位	14位	20.9%	6位	4位
	07/3通期	67位	16位	42位	14位	19.4%	5位	2位
鐵	08/3中間	67位	20位	47位	14位	13.2%	11位	3位

05/3中間(単独):65社 05/3通期(単独):71社 06/3中間(連結):69社 06/3通期(連結):69社
 07/3中間(連結):72社 07/3通期(連結):72社 08/3中間(連結):72社

出所:鉄鋼新聞

製造工程図



資料取扱上の注意



本資料に掲載しております計画数値や見通しは、現時点で入手可能な情報に基づいて当社独自に予測したものであり、リスクや不確実性を含んでおります。

従いまして、実際の業績はこれと異なる可能性があり、見通しの達成を保証するものではありません。